

産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成 23 年度実績）について



環境省は平成 25 年 12 月 26 日、平成 23 年度の産業廃棄物の排出及び処理状況等について調査結果を公表しました。

平成 23 年度の全国の産業廃棄物の総排出量は約 3 億 8,121 万トンで、22 年度に比べ、約 500 万トン(約 1.2%)の減少となりました。

業種別排出量では 22 年度と同様、電気・ガス・熱供給・水道業(総排出量中 25.1%)、農業・林業(同 22.2%)、建設業(同 19.8%)、パルプ・紙・紙加工品製造業(同 7.8%)、鉄鋼業(同 7.4%)の上位 5 業種で総排出量の 8 割以上を占める結果となり、廃棄物の種類別排出量も 22 年度同様、汚泥(43.6%)、動物のふん尿(22.2%)、がれき類(15.7%)の上位 3 品目だけで総排出量の 8 割以上を占める結果となりました。

尚、減量化量は約 1 億 6,877 万トン(22 年度約 1 億 6,700 万トン)とわずかに増加し、最終処分量は約 1,244 万トン(同約 1,426 万トン)と減少していますが、再生利用量は 22 年度の約 2 億 473 万トンより約 473 万トン少ない約 2 億トンにとどまりました。

当社では、産業廃棄物の分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2013 年 12 月 26 日付 環境省ホームページ

土壌環境箇所 明石康伸